

病院と地域、患者さんをつなぐ“広報力”を磨く

第13回医療機関広報フォーラム

<開催概要>

日時 2017（平成 29）年 3 月 27 日（月） 13:00 ～ 16:50
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 417 号室
（東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号）
対象 医療専門職・事務職・看護職など、職種を問わず広報に関心のある医療機関従事者
定員 100 人
主催 公益社団法人 日本広報協会
後援（予定） 厚生労働省、（公社）日本医師会、（一社）日本病院会、（一社）日本医療法人協会、
（公社）全国自治体病院協議会、（公社）日本精神科病院協会、（公社）全日本病院協会、
（公社）日本看護協会、（一社）日本精神科看護技術協会
参加費 8,000 円（税込） ※ 日本広報協会会員は 5,000 円（税込）

<プログラム>

講義 1 「選ばれる」医療機関になる ～安心感、信頼感のあるウェブサイトの制作と運用

講師：清家 順／ユニバーサルワークス代表取締役、日本広報協会広報アドバイザー

インターネットが普及・発達した現在、医療機関のウェブサイトは、利用者が最初にアクセスする病院などの窓口といえます。利用者に選ばれる医療機関にするために、ウェブサイトはどうあるべきか。どのようなデザインやコンテンツが安心感や信頼感を与えるのか。検索サイトで上位に表示されるためにはどうすればいいのか。また、リクルート対策としてウェブサイトはどのような役割を果たせるのか。制作会社に、どのように発注すればいいのか。制作・運用面での注意点を含めて、ウェブサイトのプロが、利用者の視点からポイントを伝授します。

事例発表 患者さまの信頼と満足を高める 広報コミュニケーションの取り組み

社会医療法人宏潤会大同病院 広報室

医療・介護を通して「皆様の信頼と満足」を極めることを最大の目標としている大同病院の基本方針は、質の高い安全な医療の提供と、患者さまの信頼や満足を得ること。「大同病院で診てもらいたい。治療したい」と思っていただけるように、ウェブサイトや Facebook、広報誌「みんなのひろば」「一期一会」など複数の広報媒体で情報を発信しています。また、患者さまが自らの病気を理解し、医療関係者と協働で病気を克服していただくことを目的に患者図書室「いきいきの森」を開設したり、患者さま満足度アンケートを実施したりしています。ウェブサイトを中心に、同院のさまざまな取り組みを紹介していただきます。

講義 2 読まれる誌面を目指す ～広報誌づくりのポイントとクリニック

講師：吉村 潔／エディター、日本広報協会広報アドバイザー

広報誌も、医療機関と利用者を結ぶ重要なコミュニケーション・ツールです。待ち時間に手にしてもらったり、病室や家庭に持ち帰ってもらったりなど、ウェブサイトとはまた異なった活用が期待できます。それぞれの医療機関の役割や目的に応じた広報誌の企画の立て方、読まれる記事づくりのコツ、魅力的なデザイン・レイアウトなどについて、編集のプロが講義します。また、講義の中で、参加医療機関の広報誌の公開クリニック（診断と改善点のご提案など）を行います。実際の誌面を目にしながら、よりよい広報誌にしていけるための具体策を学んでいただきます。

※クリニックをご希望の方は、事務局宛に広報誌を 3 月 13 日（必着）までにお送りください。ただし、講義時間の都合で、全ての広報誌をクリニックできない場合がございます。ご了承ください。

情報・意見交換の一つとして、皆様の医療機関の広報誌等を、ぜひお持ちください。会場で閲覧できるように展示いたします。